

※運転中：赤色 建設中：黄色 計画：青色 検討中：緑色 ※並列しているセルの色は、進捗している側に合わせた。

国名	状況	原子炉名	開発者	開発サイト	基数	合計電気出力 (万kW)	炉型	導入者	運転開始時期	状況等
アルゼンチン	建設中	CAREM-25	CNEA(原子力委員会)	アトーチャ原子力発電所 近傍	1	3.2	PWR	CNEA	2028年	着工:2014年2月。
カナダ	建設中	BWRX-300	GE Vernova Hitachi Nuclear Energy(GVH) (米)	ダーリントン 原子力発電所	4	120.0	BWR	オンタリオ州営電力(OPG)	2030年 西側諸国初のSMR	建設許可申請(2022年10月)。CNSC、初号機の建設許可(2025年4月)。 オンタリオ州政府、初号機の建設計画を承認(2025年5月)。 建設開始:2025年5月、原子炉建屋基礎設置:2026年4月。
	検討中			サスカチュワン州 エステバン地域	1	30.0		サスクパワー	2030年代半ば	エステバン地域の2か所を候補サイトとして選定。最終投資決定(FID):2029年。
	検討中	ARC-100	ARC Clean Technology (米・加)	ポイントブロー 原子力発電所	1	10.0	Sodium-cooled FR	NBパワー	2030年	ナトリウム冷却・プール型高速中性子炉。CNSC(カナダ原子力安全委員会)のVDR(許認可申請前 ペーパー設計審査)評価:フェーズ2完了(2025年7月)。 サイト準備許可(LTPS)をCNSCに申請(2023年6月)。
	検討中			ニューブランズウィック州 ベルドゥーン港	1	10.0		ベルドゥーン港湾管理局(BPA)/クロ ス・リバー・インフラ・ パートナーズ(CRIP)	2030年~2035年頃	BPAによるクリーンエネルギーの特別開発地区「グリーン・エネルギー・ハブ」開発の一環。さま ざまな産業ユーザーのエネルギー源として活用予定。
	検討中	SSR-W (Stable Salt Reactor-Wasteburner)	Moltex Energy (加)	ポイントブロー 原子力発電所	1	30.0	MSR	NBパワー	2030年代初め~中頃	ピン型燃料熔融塩高速炉。CNSCのVDR評価:フェーズ1完了(2021年5月)。
	検討中	eVinci	Westinghouse(WE) (米)	サスカチュワン州	1	0.5	Micro reactor Heat Pipe	サスカチュワン州 研究評議会(SRC)	2029年	ヒートパイプ冷却炉。 州政府、SRCに対して8,000万加ドルの研究補助金交付。eVinciの実証実験のため(2023年11月)。 NRC(米原子力規制委員会)許認可申請前活動中。加CNSCのVDR評価中:フェーズ2。
	検討中	Xe-100	X-Energy (米)	—	—	—	HTGR	トランスアルタ(TransAlta)	—	高温ガス炉。アルバータ州の化石燃料発電所を再利用したXe-100の導入可能性調査(2024年4月)。 そのほか、アルバータ州は、Terrestrial Energy社のIMSRやARC Clean Energy社のARC-100、韓 国のSMART炉など導入に向けた覚書を内外の複数企業と締結。
検討中	KRONOS MMR	Nano Nuclear Energy 米Ultra Safe Nuclear Corporation (USNC)は、2024年10月に 破産申請	カナダ原子力研究所 (CNL)	1	1.5	HTGR	カナダ原子力研究所 (CNL)	—	高温ガス炉。CNSCのVDR評価中:フェーズ2(保留中)。 GFP(Global First Power)、LTPS申請(2019年3月)、CNSCが一時的停止中。	
チェコ	検討中	Rolls-Royce SMR	Rolls-Royce SMR (英)	テメリン原子力発電所近傍	1	47.0	PWR	チェコ電力(CEZ)	2030年代前半	トゥシミツェ(Tušimice)やジェトマロヴィツェ(Dětmorovice)などへの立地も検討。
中国	運転中	HTR-PM	清華大学 INET (核能与新能源技術研究所) (中)	山東省石島湾	2	21.1	HTGR	CHNG/CNEC/INET(中国華能集団/ 中国核工業建設集团公司/ 清華大学核能与新能源技術研究所)	2023年	高温ガス炉。運転開始:2023年12月。熱電併給。
	建設中	ACP100	CNNC/NPIC(中国核工業集团公司/ 中国核動力研究設計院) (中)	昌江(海南)原子力発電所	1	12.5	PWR	CNNC	2026年	玲龍一号。着工:2021年7月。
	計画中	HTR-PM600S	清華大学 INET (核能与新能源技術研究所) (中)	徐圩原子力発電所	1	66.0	HTGR	CNNC	2030年	商用炉、6モジュール、タービン1基。初号機を江蘇省に建設、2026年着工予定。 華龍一号×2基を同サイトに建設。
エストニア	検討中	BWRX-300	GVH (米)	—	2	60.0	BWR	フェルミ・エネルギー	2035年	エストニア議会、原子力導入支援を決議(2024.6)。フェルミ・エネルギー社、サイト選定プロセス の開始を申請(2025年1月)。
フィンランド	検討中	LDR-50	Steady Energy (フィンランド)	ヘルシンキ市内	10(最大)	50.0 (熱出力)	PWR	ヘレン	2030年代初頭	地域熱供給用。 フォータム、LDR-50の開発に関し、運転・保守設計支援を含む包括協定締結。株式出資を通じて 開発支援(2026年1月)。 LDR-50の機能性などの検証を目的に、LDR-50のパイロットプラント(電気加熱式、非発電)が着工 (2026年2月)。
				—	5(最大)	25.0 (熱出力)	PWR	クオピオン・エネルギー	2030年代初頭	
				—	—	—	PWR	ケラヴァン・エネルギー	2032年	

※運転中：赤色 建設中：黄色 計画：青色 検討中：緑色 ※並列しているセルの色は、進捗している側に合わせた。

国名	状況	原子炉名	開発者	開発サイト	基数	合計電気出力 (万kW)	炉型	導入者	運転開始時期	状況等
フランス	検討中	NUWARD	EDF/CEA/Naval Group, Framatome, TechnicAtome等 (仏)	—	1	最大40.0	PWR	フランス電力(EDF)	2030年代	EDFグループ、SMR戦略を実証済みの技術のみに基づく設計開発へシフトさせることを決定(2024年6月)。NUWARD設計の簡素化を発表(2025.1)。
	検討中	LFR-AS-30	Newcleo (英)	—	1	3.0	Lead-cooled FR	CEA/Newcleo	2032年	鉛冷却高速炉。仏で2031年までに電気出力3万kWの実証炉LFR-AS-30の運転開始、英で2033年までに電気出力20万kWの初の商業炉(LFR-AS-200)の建設をめざす。仏原子力・代替エネルギー庁(CEA)とLFR開発に関する提携契約(2024年4月)。ニュークレオ社、英国でのLFR開発の停止/事業を大幅縮小と発表(2025年7月)。LFRの原子力安全プログラムの技術的詳細を仏原子力安全・放射線防護機関(ASNR)に提出(2025.12)。2027年に建設許可申請予定。
ガーナ	検討中	VOYGR-12	NuScale Power (米)	—	12	92.4	PWR	ガーナ原子力発電公社(NPG)	—	レグナム社、NPGとガーナでVOYGR-12を所有/運転する子会社を設立予定(2024年8月)。米務省(DOS)、「SMR技術の責任ある利用のための基盤インフラ(FIRST)」プログラムを通じて支援。日本も支援。
インド	検討中	BSMR-200	BARC(バーバ原子力研究所)および NPCIL(インド原子力発電公社)	タラプール原子力発電所	1	22.0	PWR	インド原子力省(DAE)	2033年	PWR技術がベース。現在、詳細設計が進行中。閉鎖予定の火力発電所のリプレースのほか、鉄鋼、アルミニウム、金属などのエネルギー集約型産業向けの自家発電プラント。
	検討中	SMR-55	BARC	タラプール原子力発電所	2	11.0	PWR	DAE	2033年	PWR技術がベース。遠隔地およびオフグリッド地域へのエネルギー供給向け。
	検討中	HTGCR	BARC	BARCのヴィサグ(Vizag) 研究開発キャンパス	1	0.5 (熱出力)	HTGR	DAE	2033年	高温ガス炉。輸送部門やプロセス産業の脱炭素化を目的とした水素製造向け。
インドネシア	検討中	VOYGR-6	NuScale Power (米)	Pantai Gosong (カリマンタン島)	6	46.2	PWR	インドネシアパワー社	—	SMRの導入可能性に関する検討が米国支援下で進捗。フィージビリティスタディ(F/S)をカリマンタン島で実施。日本企業では日揮やIHIが関与。
日本	運転中	HTTR (高温工学試験研究炉)	JAEA (日本原子力研究開発機構)	茨城県大洗町	1	3.0 (熱出力)	HTGR	JAEA	1998年	高温ガス炉。運転再開:2021年7月。
韓国	検討中	VOYGR-6	NuScale Power (米)	蔚珍郡	6	46.2	PWR	GSエナジー	2030年	GSエナジー社、韓国慶尚北道蔚珍郡と蔚珍原子力水素国家産業団地にNuScale社製SMRの使用を検討する覚書締結(2023年5月)。
	検討中	i-SMR	KHNP/KAERI (韓国水力・原子力/韓国原子力研究院)	大邱慶北新空港近くのハイテク産業団地	4	68.0	PWR	大邱広域市	2033年	KHNP、大邱広域市と大邱慶北新空港近くのハイテク産業団地へのi-SMR建設に向け、FSを含む覚書締結(2024.6)。
ロシア	運転中	KLT-40S	OKBM Afrikantov (実験機械製造設計局) (露)	チュクチ自治管区 ベベク	2	7.0	PWR	ロスタトム	2020年	浮揚型原子力発電所アカデミック・ロモノソフ号。熱電併給。
	建設中/ 計画	RITM-200M(S) (浮揚型)		チュクチ自治管区 ナグリュウニン岬	8	42.4	PWR		2028年	バイムスキー銅鉱山プロジェクト向け。RITM-200M(S)が2基搭載された浮揚型原子力発電所4隻を建造・係留を計画。
	建設中	BREST-OD-300	RDIPE(NIKIET) (エネルギー工学研究所) (露)	トムスク州 セベルスク	1	30.0	Lead-cooled FR		2029年	鉛冷却高速炉。着工:2021年6月。
	計画	RITM-200N (陸上型)	OKBM Afrikantov (実験機械製造設計局) (露)	サハ共和国 ウスチ・クイガ村	2	11.0	PWR		2031年	露規制当局、サハ共和国でのRITM-200Nの設置許可発給(2023年4月)。建設工事開始。
	計画	RITM-400		クラスノヤルスク州 ノリリスク	4	32.0	PWR		2032年	ノリリスク・ニッケルとロスタトムがRITM-400による陸上SMR建設を計画。
	計画	SHELF-M	RDIPE(NIKIET) (エネルギー工学研究所) (露)	チュクチ自治管区	1	1.0	PWR		2030年	金鉱床での探掘向け電力供給。
サウジアラビア	検討中	SMART100	KEPCO / KHNP / K.A.CARE (韓国電力、韓国水力原子力、アブドラ国王原子力・再生可能エネルギー都市公団)	—	1	11.0	PWR	K.A.CARE	—	韓国原子力安全委員会(NSSC)より、標準設計承認(SDA)取得(2024年9月)。原型のSMART炉(2012年7月にSDA取得)の改良型。

※運転中：赤色 建設中：黄色 計画：青色 検討中：緑色 ※並列しているセルの色は、進捗している側に合わせた。

国名	状況	原子炉名	開発者	開発サイト	基数	合計電気出力 (万kW)	炉型	導入者	運転開始時期	状況等
スウェーデン	検討中	BWRX-300 or Rolls-Royce SMR	GVH or Rolls-Royce SMR	リングハルス原子力発電所	—	—	BWR or PWR	バッテンフォール ビデバーク・クラフト社	2030年代前半	供給候補6社から米GVH社と英ロールス・ロイスSMR社に絞り込み(2024年6月)。
	検討中	BWRX-300	GVH (米)	バルデマーシュビーク	4~6	120~180	BWR	シャーンフル・ネクスト (KNXT)	2030年代前半	建設候補地で予備的FSを実施中。
				ニショーピング	—	—			—	
検討中	SEALER-55	Blykalla (スウェーデン)	オスカーシャム 原子力発電所	1	5.5	Lead-cooled FR	ユニバー・スウェーデン、Blykalla、 スウェーデン王立工科大学 (KTH)	2030年	鉛冷却高速炉。スウェーデン・エネルギー庁、オスカーシャム原子力発電所での実証用鉛冷却SMR「SEALER」の建設支援で、スウェーデン・モジュール原子炉会社(Blykallaとユニバー・スウェーデンの合併企業)に9,900万スウェーデン・クローナを資金提供(2022年2月)。電気加熱式のSealer-Eプロトタイプ炉建設に向け起工式開催(2025年2月)。	
ポーランド	検討中	VOYGR-6	NuScale Power (米)	国内西部の 複数地点	6	46.2	PWR	KGHM	2029年	気候環境省、原則決定(DIP)を発給(2023.7)。
	検討中	BWRX-300	GVH (米)	国内6地点	24	720.0	BWR	オーレン・シントス・グリーン・ エナジー(OSGE)	2030年	気候環境省、DIPを発給(2023.12)。国内6地点:北東部のオストロウェンカ(Ostrołęka)とブウォツワベク(Włocławek)、南部のスタビ・モノフスキエ(Stawy Monowskie)とドンブローヴァ・グルニチャ(Dąbrowa Górnicza)、ノバ・フタ(Nowa Huta)それぞれの近郊地点、タルノブジェク(Tarnobrzeg)の特別経済区。
	検討中	Rolls-Royce SMR	Rolls-Royce SMR (英)	シフィエンティクシシュ県	2	94.0	PWR	インダストリア (Industria)	2030年代	気候環境省、DIPを発給(2024年5月)。
	検討中	PWR-20	Last Energy (米)	カトヴィチエ経済特区	10	20.0	PWR	カトヴィチエ経済特別区	—	地方経済活性化のために設立された経済特別区。SMRをベースロード用電源として活用。
				レグニツァ経済特区	10	20.0		レグニツァ経済特別区	—	
検討中	KRONOS MMR	Nano Nuclear Energy (旧: USNC)	西ポモージェ県ポリツェ町	1	3.0(熱出力)	HTGR	Grupa Azoty Police/ 西ポメラニアン技術大学	—	Grupa Azoty Police社(肥料・化学品メーカー)、USNC、西ポメラニアン技術大学、MMR技術をベースとした原子力研究施設を西ポモージェ県にあるポリツェ町で建設合意(2023年3月)。共同プロジェクトの第一段階として、訓練・研究・試験施設用に3.0万kWtの原子炉を建設。最終的には、Grupa Azoty Police社の施設の電力、熱、水素製造を視野。	
ルーマニア	検討中	VOYGR-6	NuScale Power (米)	ドゥンボビツァ県 ドイチェシュティ(Doicești)	6	46.2	PWR	ロパワー・ニュークリア (RoPower Nuclear)	2030年代初頭	閉鎖済みの石炭火力発電所サイトに建設予定。米国政府が資金面を含む支援を実施。ルーマニア国営原子力発電会社ニュークリアエレクトリカ(SNN)、「VOYGR-6」建設プロジェクトの最終投資決定(FID)を承認(2026年2月)。
	検討中	PWR-20	Last Energy (米)	アルジェシュ県 ミオヴェニ(Mioveni)	1	2.0	PWR	ルーマニア原子力機関 (RATEN)	—	Last Energy社、ルーマニアの原子力規制当局(CNCAN)から事前認可取得(2024.10)。
ウクライナ	検討中	SMR-160	Holtec International (米)	リウネ原子力発電所	6	96.0	PWR	エネルゴアトム	2029年	最終的に最大20基のSMR-160の国内建設を視野。SMR-160に使用するさまざまな専用機器の製造施設建設など、同技術の一部国産化も検討。

※運転中：赤色 建設中：黄色 計画中：青色 検討中：緑色 ※並列しているセルの色は、進捗している側に合わせた。

国名	状況	原子炉名	開発者	開発サイト	基数	合計電気出力 (万kW)	炉型	導入者	運転開始時期	状況等
英国	検討中	Rolls-Royce SMR	Rolls-Royce SMR (英)	ウィルヴァ	3	141.0	PWR	大英原子力(GBE-N)	2030年代半ば	英政府、SMR建設の英国初の優先交渉者としてロールス・ロイスSMR社を選定(2025年6月)、ウィルヴァを英国初のSMR建設地に正式決定(2025年11月)。ロールス・ロイスSMR社、ウィルヴァに3基建設することを発表(2025年11月)。
	検討中	Rolls-Royce SMR	Rolls-Royce SMR (英)	セラフィールド近傍	—	—	PWR	ソルウェイ・コミュニティ電力会社	2030年	英包括的設計審査(GDA)のステップ1(GDA範囲とスケジュールの合意段階)、ステップ2(実質的な技術評価段階)完了。ステップ3(詳細評価)に移行(2024年7月)。NRCに規制関与計画を提出(2025年4月)。
	検討中			セラフィールド/トロースフィニッド/ウィルヴァ/オールドベリーオンセバーン	—	—	PWR	Rolls-Royce SMR/原子力廃止措置機関(NDA)	—	Rolls-Royce SMR社、有力な建設候補地としてイングランドとウェールズにある閉鎖済みの原子力発電サイトなど4地点を選定(2022年11月)
	検討中	AP300	WE (米)	ノース・ティーサイド地域 (イングランド北東部)	4	132.0	PWR	コミュニティ・ニュークリア・パワー(CNP)	2030年代初頭	NRC許認可申請前活動中。英でGDA開始(2024年8月)。
	検討中	PWR-20	Last Energy (米)	ブリッジエンド (ウェールズ南東部)	4	8.0	PWR	—	2027年	産業向けに建設。建設予定地は旧・石炭火力発電所の跡地。既に現地調査を開始。英原子力サイト許可(NSL)の正式手続き開始(2025年2月)。
	検討中	Xe-100	X-Energy (米)	ハートルプール	12	96.0	HTGR	セントリカ	—	英エネルギー供給会社のセントリカ社は、米X-エナジー社と提携してイングランド北東部のハートルプールに最大12基の先進炉を建設。
	検討中	SMR-160 (SMR-300)	Holtec International (米)	ノッティンガムシャー	—	—	PWR	EDFエナジー社/ トライタックス社 (不動産投資企業)	—	旧コッタム石炭火力発電所にSMRを導入し、データセンターを開発する計画。プロジェクト総額110億ポンド。
	検討中	PWR-20	Last Energy (米)	ロンドン・ゲートウェイ港	—	—	PWR	DPワールド社 (港湾運営会社)	2030	8,000万ポンドの民間投資による、世界初の港湾中心のマイクロ炉発電所を建設する計画。
	検討中	Natrium	TerraPower (米)	—	—	—	Sodium-cooled FR	—	—	Natrium導入に向け、英国でサイト調査を行う予定。

※運転中：赤色 建設中：黄色 計画：青色 検討中：緑色 ※並列しているセルの色は、進捗している側に合わせた。

国名	状況	原子炉名	開発者	開発サイト	基数	合計電気出力 (万kW)	炉型	導入者	運転開始時期	状況等
米国	計画	BWRX-300	GVH (米)	クリンチリバー 原子力発電所	1	30.0	BWR	テネシー峡谷開発公社(TVA)	2032年	クリンチリバー(ESP/早期サイト許可取得済み)における建設許可申請(2025年5月)、NRC、申請受理/審査開始(2025年7月)。
	計画	SMR-300	Holtec International (米)	バリセード原子力 発電所	2	60.0	PWR	Holtec International	2030年	「SMR-300」×2基から構成される「バイオニア発電所」の建設許可申請の第一部をNRCに申請(2025年12月)。閉鎖済みのオイスタークリーク原子力発電所サイトにも1基を建設予定。
	検討	VOYGR	NuScale Power (米)	オハイオ州	24(各7.7万Kw) (2施設合計)	184.8	PWR	スタンダードパワー、 ENTRA1エナジー	2029年	データセンター向け電力供給。
				ペンシルベニア州						
	計画	Natrium	TerraPower (米)	ワイオミング州ケンメラー	1	34.5	Sodium-cooled FR	パシフィックコープ	2030年	Na冷却高速炉。建設許可申請(2024年3月)。Natrium炉(ケンメラー1号機)の起工式を開催(2024年6月)。NRC、同1号機の建設に係る最終安全評価を完了(2025年12月)。原子力部(Nuclear Island)の建設開始(2026年4月)
	検討	BANR (BWXT Advanced Nuclear Reactor)	BWXT Advanced Technologies (米)	アイダホ国立研究所(INL)	1	0.1~0.5 (熱出力)	Micro Reactor HTGR	国防総省(DOD)	2026年	高温ガス炉。軍事作戦用の可搬式プロトタイプのマイクロ炉の設計・建設・実証プロジェクト(プロジェクト・ベレ)。建設工事に着手(2024年9月)。
	検討			ワイオミング州 グリーンリバー	8(最大)	13.6		タタ・ケミカル・ ソーダッシュ・パートナーズ (TCSAP)	2030年代初頭	TCSAP社、BWXTと最大8基のBANR配備を検討する基本合意書締結(LOI)締結(2024年12月)。
	建設	Hermes (FHR低出力試験炉)	Kairos Power (米)	東部テネシー技術パーク (ETTP)	1	3.5 (熱出力)	MSR	Kairos Power	2027年	フッ化物塩冷却高温実証炉。NRC、建設許可発給(2023年12月)。Hermes(非発電炉)の建設予定サイトで土木工事を開始(2024年7月)、着工(2025年5月)。
	計画	Hermes 2 (実証炉)	Kairos Power (米)	東部テネシー技術パーク (ETTP)	1	5.0	MSR	Kairos Power	2030年	NRC、Hermes2(発電炉)実証プラント建設プロジェクトの建設許可発給(2024年11月)。TVAとPPA締結、Hermes2で発電した電力をテネシー州およびアラバマ州にあるGoogleのデータセンターに電力供給計画(2025年8月)。当初の2基構想(1.4万kWe×2基)から、単一炉(5.0万kWe)構成へ変更。起工式開催(2026年4月)。
	検討	KP-FHR (商業炉)	Kairos Power (米)	—	2(最小)	15.0	MSR	Kairos Power	2035年	ヘルメスの開発実績、反復開発モデルによる、商業規模のフッ化物塩冷却高温炉。
	計画	Xe-100	X-Energy (米)	テキサス州シードリフト・ サイト	4	32.0	HTGR	ダウ・ケミカル	2030年	米Amazon、Xe-100の商業化に向けて約5億ドルを出資(2024年10月)。Amazon、SMR施設「カスケード先進エネルギー施設(Cascade)」の詳細計画(最大12基建設)を公表、2020年代末までに建設開始予定(2025年10月)。 米ロング・モット・エナジー社(ダウ子会社)、「Xe-100」×4基の建設許可申請(2025年3月)、NRCが申請受理/審査開始(2025年5月)。
	検討			コロンビア原子力発電所	最大12基	96.0		グラント郡PUD/エナジー・ノース ウェスト	2030年代	
	検討	Aurora	Oklo (米)	アイダホ国立研究所(INL)	1	1.5	Micro reactor Sodium-cooled FR	—	2029年末	ヒートパイプ冷却小型高速炉。NRCに提出した建設・運転一括(COL)申請準備中。Auroraの起工式開催(2025年9月)。
	検討			アイルソン空軍基地 (アラスカ州)	1	—		米空軍省(DAF)	2030年	米空軍省(DAF)、マイクロ原子炉のベンダーとしてオクロ社を暫定的に選定(2023年8月)。米空軍省と国防兵站局エネルギー部、発注意向書(NOITA)発出(2025年6月)。
	検討			テキサス州ミッドランド	—	5.0		ダイヤモンドバック・ エナジー	—	オクロ社、米国独立系石油ガス開発会社のダイヤモンドバック・エナジー社と長期の電力購入契約(PPA)に関する基本合意書(LOI)締結(2024年4月)。
	検討			オハイオ州バイクトン	2	—		オハイオ州南部の多様化 イニシアチブ(SODI)	—	オクロ社、SODIと土地権利契約を締結、土地購入のオプションと優先交渉権を獲得(2024年2月)。
計画	KRONOS MMR	Nano Nuclear Energy (旧: USNC) (米)	イリノイ大学 アーバナ・シャンペーン校 (U. of I.)	1	0.5	Micro reactor HTGR	イリノイ大学	—	米Nano Nuclear Energy社、USNCの特許取得済みMMRシステム、関連するすべての特許およびその他の知的財産権等、原子力技術資産を850万ドルで買収(2024年12月)。NRCに規制関与計画(REP)を提出(2025年6月)、NRCにU. of I.での建設許可申請(2026年4月)。	
検討	MCFR	TerraPower, ORNL, EPRI Southern Company (米)	—	1	約18.0	MSR+FR	Southern Company	2030年代 (MCFR)	MCRE(塩化物融塩実験炉, 1MWth 以下)をINLで早ければ2030年に運転、2030年代初めにMCFR実証炉(約180MWe)運転を計画。設計・試験活動中。米NRC許認可申請前計画中。	

※運転中：赤色 建設中：黄色 計画中：青色 検討中：緑色 ※並列しているセルの色は、進捗している側に合わせた。

国名	状況	原子炉名	開発者	開発サイト	基数	合計電気出力 (万kW)	炉型	導入者	運転開始時期	状況等
	検討中	PWR-20	Last Energy (米)	テキサス州ハスケル郡	30	60.0	PWR	—	—	データセンター向け電力供給。 早期サイト許可(ESP)申請準備中。
ウズベキスタン	計画中	RITM-200N (陸上型)	OKBM Afrikantov (実験機械製造設計局) (露)	ジザク州	2	11	PWR	ウズベキスタン原子力庁 (ウザトム:Uzatom)	2029年	露とRITM-200N建設で政府間合意(2024年5月)。RITM-200N×6基から2基ならびに大型炉VVER-1000×2基の建設に変更(2025年9月)。初号機の原子炉建屋の基礎掘削工事開始(2025年10月)。

※運転中：営業運転を開始している発電所。 建設中：建設着工から営業運転開始までの発電所。 計画中：計画実現性が高いもので、まだ建設工事に入っていない発電所。 検討中：検討段階にある発電所。

※欧州委員会(EC)、2024年2月に立ち上げた「欧州SMR産業アライアンス(European Industrial Alliance on SMRs)」による初回の支援対象として下記9件のSMRプロジェクトを選定(2024年10月)。2030年代初頭までに欧州でSMRの開発、実証、展開の促進をめざす。

・ EU-SMR-LFR project(伊Ansaldo Nucleare, ベルギーSCK-CEN, 伊ENEA, ルーマニアRATEN)、・ CityHeat project(仏Calogena, フィンランドSteady Energy)、・ Project Quantum(米Last Energy)、・ European LFR AS Project(英Newcleo)、
Nuward(仏EDF)・ European BWRX-300 SMR(ポーランドOSGE)、・ Rolls-Royce SMR(英Rolls-Royce SMR Ltd)、・ NuScale VOYGR SMR(ルーマニアRoPower Nuclear SA)、・ Thorizon One project (蘭Thorizon)

<参考資料>

・ IAEA small modular reactors Catalogue 2024

・ Third Way: Blog 「Advanced Reactors: Turning the Corner」(2021年6月16日)

・ 各開発者、導入者のウェブサイト、原子力産業新聞など